

ユーザーズガイド（案）の説明資料

「下水道分野における IS055001 適用ユーザーズガイド（案）」（以降、ユーザーズガイドとする）は平成 25 年度に策定した「下水道分野における IS055001 適用ユーザーズガイド（素案改訂版）」を見直したものである。昨年度に引き続き、地方公共団体等を対象とした試行認証を実施するとともに、新たにアセットマネジメント先進都市からなる自治体ワーキンググループを設置し、それらのプロセスを経て得られた知見等に基づき、改訂した。

ユーザーズガイドでは、これからアセットマネジメントシステム（AMS）の導入を検討する自治体を対象として、導入への動機づけとなるようなガイドを目指して作成している。

1. ユーザーズガイドの構成と導入部のポイント

1-1. ユーザーズガイドの構成（ガイド p6）

図 1-1 を参照。ユーザーズガイドは本編と資料編から構成され、本編は 4 章に分かれており、下記の内容を記載している。

- 1 章 作成の背景や目的、後述する下水道事業の課題と AMS 導入の効果などを示している。
- 2 章 IS055001 における規格や要求事項の説明と、後述する主要な用語の解説を示している。
- 3 章 IS055001 要求事項の箇条である箇条 4～10 についての解説を示している。
- 4 章 IS055001 導入及び認証に向けた手順を示している。
- 5 章 民間事業での IS055001 導入の方法と注意点を示している。

また、資料編には要求事項をまとめた「概要版 IS055001」、「AM マニュアルのテンプレート」、「ワークショップの手引き（案）」、「内部監査マニュアル（案）・チェックリスト」を、IS055001 を導入する際の見本として添付している。

1-2. 下水道事業の課題と AMS 導入の効果（ガイド P2～4）

AMS を導入することにより、下水道事業がどのように改善されるかという点をまとめた。

表 1-1 では人、モノ、カネの観点から、下水道事業の課題と AMS 導入の効果により改善される事例を紹介している。また、自治体への個別ヒアリング等により、実際の生の声を整理した。

この結果、各都市において現行の事業管理やその組織運営の問題点に対し、「アセットマネジメントシステム」を導入することにより多くのメリットが発生することが明らかとなっている。

1-3. コラムの作成（ガイド P9, p16, 目次）

IS055001 の理解をより深め、留意点等が理解しやすいように p6 や p16 のようなやわらかい表現のコラムを掲載した。目次に示されるとおりコラムは 7 編掲載しており、本編目次にはコラムの目次も記載した。コラムはガイドの p9, p16 の他、p25, p30, p61, p107, p122 に掲載している。

1-4. 用語解説の拡充（ガイド p14～16）

図 2-3 に示される AMS の重要な要素間の関係の流れに沿って、表 2-3 に主要な用語を解説した。組織、関係者、アセットマネジメント、アセットマネジメントシステム、アセットポートフォリオ、アセット、リスク、支援の要素、インシデント、パフォーマンス評価の 9 つの用語について解説を追加した。

2. IS055001 導入の手引き（前半）

2-1. 箇条の解説方法の変更

（1）解説の順番（ガイド P11～14）

IS055001 の箇条の順番は p11 の図 2-2 のとおりである。ここで、p14 の下の方に記述しているとおり、第 3 章の IS055001 導入の手引きでは、箇条の中には他の箇条を参照しているものがあることから、検索しやすいように箇条の順番で解説を行うように変更した。従前は p116 の図 4-1 に示されるプロセスの順番で解説していた。

（2）解説等の構成（例えば、ガイド P18～）

各箇条に関する説明については、下記のルールに則り記載している。

【箱書き】 IS055001 の要求事項に整合した用語を用いて説明を行っている。

【概要】 要求事項の意味・意義、背景を含めて要求事項に関する概要を説明している。

【解説】 具体的な対応策や事例等を用いて、実施方法(How)を説明している。

（3）解説の見直し（例えば、p18～19）

参考文献やワーキンググループの討議結果等をもとに、解説の見直しを図った。例えば、外部と内部の課題（p18～19）については状況を評価する際の視点を例示した。とくに、内部の状況についてはアセットマネジメントシステムに対する取り組み状況についても課題となり得ることを示した。

また、p24 に記載した「取り組み優先度の決定基準」p32, 33 に記載した「戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)」、p39, 40 に記載した「AMS の組織のビジネスプロセスへの統合」、p41 の概要に記載した「AM 方針への記載事項」、p50～p54 に記載した「リスクマネジメント」、p 60, 61 に記載した「アセットマネジメント計画」などについても解説の見直しを図った。

2-2. 先進都市の事例を紹介 ※各事例については、事務局において追記・修正等を実施しているため、都市が保有している資料と異なるところがある。

（1）外部と内部の課題（p21）

既存の図書にも組織の課題が記されているものがあることを示す。

（2）組織の状況とニーズ・期待の組み合わせによる戦略課題抽出（SWOT 分析）p27

左に組織の状況を、上にニーズ・期待の状況を整理し、これらの組み合わせにより戦略課題を抽出している事例である。SWOT 分析を用いためずらしい事例である。また、これと、p36 の戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)はリンクしている。P36 も 1 つの様式（建設局運営方針）にて、組織目標から経営課題、戦略までの SAMP に相当する部分と、その年の具体的取り組み、アセットマネジメント目標を示す、めずらしい形の事例である。

（3）戦略的アセットマネジメント計画(SAMP)p37

AM 方針から AM 目標までの体系図であり、SAMP については組織計画の一部を用いている。

（4）アセットマネジメント方針 p43, 44

実際のマニュアルやガイドに記載されている形で事例として紹介している。

（5）組織の役割、責任、権限①p46

補完者である団体 D との推進体制を示している事例である。同様に、p62 の AM 計画、p107 の内部監査においても同様の組み合わせが示されている。

（6）組織の役割、責任、権限②p47

下水道事業調整会議の設置と各課役割分担表の策定が特徴である。各課役割分担表は、p76 に示されている。

(7) 組織の役割、責任、権限③p48

アセットマネジメント推進委員会及び具体的な検討組織としてワーキンググループを設置している点が特徴である。P75 には、ワーキンググループの主な取り組み内容を紹介している。

(8) アセットマネジメント目標 p59

アセットマネジメント目標の展開例である。各部署に目標が展開され、自分たちの部署が何を指さなければならないのかが明確になっており、その計測・評価を通じて継続的改善が図られている。

3. IS055001 導入の手引き（後半）以降

3-1. 箇条の解説の見直し

箇条7「支援」（資源、力量、認識、コミュニケーション、情報に関する要求事項、文書化した情報）については、解説の文章を増強すると共に、アセットマネジメントを支援する先進都市の取り組み事例をできる限り紹介して、具体のイメージを持ちつつ解説の内容を理解できるように改善した。また、p89の「文書化した情報」では、規格が要求している文書化情報を該当する要求事項に対応する形で示した。（従前は、要求事項の箇条を紹介していた）

p89～91 に記載した「業務プロセス」、p98, 99 に記載した「モニタリング・測定」、p101, 102 に記載した「内部監査の目的」などについても解説の見直しを図った。

3-2. 先進都市の事例を紹介 ※各事例については、事務局において追記・修正等を実施しているため、都市が保有している資料と異なるところがある。

(1) 資源 p65

事業量に対する人材確保の必要性を財政部局へ訴えるため、事業量と人材の将来見通しをデータとして提供している事例である。増大する更新需要に対して、体制の構築・検討が必要であることを示している。

(2) 力量 p66～73

必要な力量として、p66 に「下水道維持管理指針」に示される階層別の維持管理者の目標を、p67 に指定管理者に求める力量を示した。また p69～p72 では必要な力量の確保のため、自治体で取り組まれている人材育成の取り組み（各種研修など）を複数例示し、p73 では各部署で求められる力量を整理した力量表を事例として紹介している。

(3) コミュニケーション p79

p80 で組織の外部・内部とのコミュニケーションの事例、p81 では横浜市が YouTube にて PR 動画を公開している下水道施設の老朽化対策の取り組みの例を紹介している。

(4) 情報に関する要求事項 p84, 85

3つの自治体の下水道に関する情報管理システムとして、施設総合管理システム、管路維持台帳システム、下水道総合情報システムの概要を紹介。

(5) 文書化された情報 p88

事例では、要求事項を実際の業務に置き換えた上で、各々に対応した既存文書を整理している。

(6) 業務プロセスの見える化（フロー化） p90～p92

「維持管理指針」の事例の他、2つ自治体の業務プロセスの体系図について紹介している。

(7) 重要な外部委託に対する管理 p97

包括民間委託等の重要な外部委託に対する管理に関して、ヒアリング結果を紹介。

(8) パフォーマンス評価 p100

パフォーマンス評価の実施状況に関して、ヒアリング結果を紹介。

(9) 内部監査の監査基準及び内部監査 p105～107

P105 に内部監査の監査基準の事例を、p106, 107 に内部監査に関するヒアリング結果を紹介。

(10) マネジメントレビュー p109

マネジメントレビューに関するヒアリング結果を紹介。

(11) 不適合及び是正処置 p112

不適合及び是正処置に関するヒアリング結果を紹介。

(12) 予防処置 p113

予防処置に関するヒアリング結果を紹介。

(13) 継続的改善 p114

継続的改善に関するヒアリング結果を紹介。

3-3. 4章 IS055001 導入及び認証に向けた手順 (p115～)

IS055001 導入及び認証に向けた手順として、章を構築し実施手順について示している。導入にあたっては、10 のプロセスを構築しており、それぞれのプロセスの解説が記載されている。

3-4. 5章 民間事業での IS055001 導入の方法と注意点 (p123～)

民間事業者が IS055001 を導入する際の方法と注意点について記載している。

以 上